

H22 年度、響友会活動報告 (H.23.5.21)

1. Library Project の終了 (曾野、黒田、小田川、国見、戸嶋、森、嶋田、河原拓)

H.21 年 8 月からスタートした Library project は昨年 H.22 年 12 月に終了しました。

結果は Internet の「響友会ホームページ」に掲載しております。

神戸高商時代の合奏団に始まり戦後の新制大学制定後の神戸大学交響楽団に引き継がれたオーケストラに関する文献、アルバム、演奏会プログラムや音源記録などを会員の皆様を中心に卒業生の方々からご提供いただきました。昨年 12 月に会員の皆様にはメールにてお知らせ致しましたが、その後も多くの演奏会の音源をご提供いただいております。

内容の概略は昨年 3 月の兵庫県民会館での響友会総会の場で PC を利用してのデモンストレーションを行い、ご紹介申し上げました。

1982 年以降の演奏会音源は毎年録音を担当頂いております「スタジオ・おか」のご好意により定期演奏会とサマーコンサートの CD を新たに製作いただき有償にてインターネットやファックスから購入可能になっております。まだ充分な購入申し込みを頂いておりません。ふるってご購入いただければと思います。

1981 年以前の音源はご提供いただいたものを、響友会スタッフの手で CD とし、ご希望に応じて頒布いたしております。詳細はホームページをご覧ください。

2. 響友会ホームページ (黒田)

Library project のデータ保存と公開を契機に、ホームページのレイアウト、掲載内容などに改良を加え会員の皆様に閲覧しやすい形態に変更を加えました。

3. プレ 50 周年演奏会 (小田川、橋本、岩畔、戸嶋、森、河原拓)

H.22 年 3 月から今日の演奏会を目指して準備を進めてきました。この project は小田川さんにリーダーをお引き受け頂きました。卒業後も演奏活動を続けておられる方々を対象とした A オケと久し振りに楽器を取り出してお参加いただく B オケを準備しました。特に A オケメンバーには数回の練習にもお越しいただきました。指揮者には現役時代の指揮者、かつプロの指揮者を目指しておられる木下麻由加さん（'06 入学）にお願いしました。今回の成果を元に来年は 50 周年記念演奏会を持ちたいと存じます。

4. 「あ・てんぽ」の発行 (国見)

H.22 年 5 月に 19 号を発行しました。写真など充実をはかっております。

5. 会費の徴収と現役への支援 (小田川、田中会長、曾野)

会員の皆さんに会費納入を毎年 4 回に亘って直接依頼を行っています。H.21 年度が 246 名からの会費をいただきましたが、H.22 年度は 237 名とやや減少しました。住所不明者の増加も影響している可能性があります。一方、現役生支援は従来通りサマコン、定期演奏会にそれぞれ 20 万円の支援を行いました。H.23 年度は 50 周年記念事業との関係で支援内容に変更が出る可能性もあります。

6. Address Project (曾野、国見、谷口、中澤、山地、細川、嶋田、加藤)

響友会会員数が 1,100 名を越え、住所不明の会員数も徐々に増大しています。住所不明者の新住所探索を目的にプロジェクトを立ち上げ、東京支部の幹事の方々にも活動を頂いております。現在は進め方の再検討にかかっており、メールアドレスを利用して皆様方のご協力を仰ぐ事も検討しています。具体的なお願いが出てきましたら、その節は宜しくご協力をお願い申し上げます。

7. 会則変更の検討

現在の響友会会則は H.11 年(1999 年)に変更されたものが有効版となっています。10 年以上経過し、一部には変更した方が活動しやすい条項も出て来ており、議論の上、変更を総会に提案することになりました。また長年会計監査人を引き受けて頂いておりました富田肇さん（'59 入）から、都合により退任したい旨の申し入れがありましたので、スタッフ会議で了承し、新たに戸嶋潔さん（'74）に委嘱いたしました。5 月 21 日の総会で追認いただきたいと存じます。

8. 常任理事会（スタッフ会議）

H.22 年 3 月以降、常任理事会をスタッフ会議に実質的な名称変更を行い、本年 5 月まで 6 回の会議を持ちました。本日の総会で承認後に正式の名称変更となります。

会員の皆様方の中で、スタッフとしてご協力いただける方を探しています。手を貸していただける方がおられましたら、御連絡いただきたいと存じます。

今後は響友会担当の現役の方にも必要に応じてご参加いただきたいと依頼をしています。

以上